

法定研修等(4研修)の研修項目と「求められる介護福祉士像」で定められた各項目との比較表

| 求められる介護福祉士像 | 介護福祉士ファーストステップ研修 | ユニットリーダー研修 | 認知症介護実践研修 | |
|---|---|--|---|--|
| | | | ※「実践者研修」と「実践リーダー研修」は、ステップアップ式の研修体系である | |
| | | | 実践者研修 | 実践リーダー研修 |
| 尊厳と自立を支え実践する | <ul style="list-style-type: none"> 利用者の全人性、尊厳の実践的理解と展開 介護職の倫理の実践的理解と対応 (利用者の尊厳が保持された状態及び利用者の尊厳を支えるケア) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアにおける個別ケアと自立支援をはじめ、全項目で触れられている | 全項目共有 権利擁護の視点に基づく支援 * 特にこの科目が該当 | 全項目共有 |
| 専門職として自律的に介護過程の展開ができる | <ul style="list-style-type: none"> ケア場面での気づきと助言 観察・記録的的確性とチームケアへの展開 (利用者の生活全体を支える生活プランの視点に立ったアセスメント、介護計画の策定、援助内容や介護計画の評価) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメント(組織のマネジメント→PDCAサイクル) ケアのマネジメント(ユニットケアにおける介護過程の展開) 統合と実践(実践課題の設定、施設における実践課題の実施計画策定) | <ul style="list-style-type: none"> アセスメントとケアの実践の基本 QOLを高める活動と評価の観点(心理療法やアクティビティの評価方法)* 観察に基づく評価方法について含んでいる 職場実習の課題設定 * アセスメント 職場実習(アセスメントとケア実践) * 一連の介護過程実践 | <ul style="list-style-type: none"> 職場内教育(OJT)の実践(介護過程の展開についての指導を学ぶ項目有) |
| 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる | <ul style="list-style-type: none"> ケア場面での気づきと助言 (利用者の生活スタイル、心理、社会環境を含む生活全体をとらえ、生活全体を支援する視点) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアを取り巻く社会的背景と展望 ケアのマネジメント(起床～夜・1日の暮らしの支援) ユニットケアにおける個別ケアと自立支援(ユニットケアにおける社会的関係の構築) ユニットケアの理念と特徴(ケアと空間の融合、安心・快適な環境づくり) 高齢者とその生活の理解 | <ul style="list-style-type: none"> 生活支援のためのケアの演習1(生活支援のためのケア等) 学習成果の実践展開と共有(認知症の人の声を聴く等) 生活支援のためのケアの演習2(行動・心理症状) | <ul style="list-style-type: none"> 職場内教育(OJT)の実践(心理的・社会的支援に関する指導を学ぶ項目有) |
| 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション技術の応用的な展開① コミュニケーション技術の応用的な展開② ※追加科目 家族や地域に支援力の活用と強化 (利用者や家族の自覚されていない/失っている希望や欲求への視点) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアの理念と特徴(自律的な日常生活を営むことの支援) ユニットのマネジメント(物的支援のマネジメント) ケアのマネジメント(チームケア・重度化等) | <ul style="list-style-type: none"> 家族介護者の理解と支援方法 | <ul style="list-style-type: none"> 職場内教育(OJT)の実践(家族介護者を含めた支援に関する指導を学ぶ項目有) |
| QOLの維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで対象者の状態の変化に対応できる | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション技術の応用的な展開② ケア場面での気づきと助言 (利用者の身体面・精神面・社会面の状況や変化への気づきと言語化) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアにおける個別ケアと自立支援(いきがい) ケアのマネジメント(重度化・認知症への対応、看取り介護) 高齢者とその生活の理解 | <ul style="list-style-type: none"> QOLを高める活動と評価の観点 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症を取りまく社会的課題(認知症の発症から看取りまで学ぶ項目有) |
| 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる | <ul style="list-style-type: none"> 家族や地域に支援力の活用と強化 (利用者がもつ地域社会等における関係性やインフォーマルな社会資源の活用) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアの理念と特徴(生活単位と介護単位の一致) ユニットのマネジメント(ボランティア・地域住民) ケアのマネジメント(日中の過ごし方) ユニットケアにおける個別ケアと自立支援(居宅における生活の継続) 統合と実践 | <ul style="list-style-type: none"> 地域資源の理解とケアへの活用(地域資源を活用しながら対応することについて学ぶ) | <ul style="list-style-type: none"> 認知症を取りまく社会的課題(認知症の方の意思決定支援を学ぶ項目有) 施策の動向と地域展開(地域における認知症ケア関連施策の展開) |
| 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する | <ul style="list-style-type: none"> 職種間連携の実践的展開 (看護職等の他職種の役割や業務、チームケアにおいて介護職に期待される役割・行動) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアの理念と特徴(福祉用具の活用) ユニットのマネジメント(情報共有・記録・会議ミーティング) ユニットリーダーの役割(チームケアと多職種協働) ケアのマネジメント(チームケア、多職種との連携の実践) | <ul style="list-style-type: none"> 地域資源の理解とケアへの活用(認知症ケアにおける多職種連携について学ぶ) | <ul style="list-style-type: none"> チームケアを構築するリーダーの役割 認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法 |
| 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる | <ul style="list-style-type: none"> 観察・記録的的確性とチームケアへの展開 (記録の機能・考え方・型式POS(POR)、SOAP等) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメント (情報共有・記録・会議ミーティング・ユニットリーダー会議) | <ul style="list-style-type: none"> 生活支援のためのケアの演習1(中核症状の理解に基づくコミュニケーション) 学習成果の実践展開と共有(認知症の本人の声を聴く) | <ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法 チームケアを構築するリーダーの役割 |
| 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる | <ul style="list-style-type: none"> 家族や地域に支援力の活用と強化 自施設の分析 (自施設の機能、周囲の社会資源、連携他職種の業務等の理解) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットケアを取り巻く社会的背景と展望(社会保障制度と政策) ユニットケアの理念と特徴(ユニットケアの理念・ユニットケアの仕組み) | <ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援(認知症ケアの理念と我が国の認知症施策) 地域資源の理解とケアへの活用(地域資源を活用しながら対応することについて学ぶ) | <ul style="list-style-type: none"> 施策の動向と地域展開(認知症施策の変遷等) |
| 介護職の中で中核的な役割を担う | <ul style="list-style-type: none"> チームのまとめ役としてのリーダーシップ セーフティマネジメント 問題解決のための思考法 介護職の健康・ストレスの管理 自職場の分析 (サービス・組織・経営についての問題意識や業務改善の企画・提案、人事・労務・健康管理に関する知識) | <ul style="list-style-type: none"> ユニットのマネジメント(リスクマネジメント) ユニットのマネジメント(人的・物的資源、情報に対するマネジメント、リスクマネジメント等) 統合と実践(学習した知識及び技能を統合させ、ユニットリーダーとしてユニットケアを展開し、ユニットを運営することを学習する) 実践課題の設定 施設における実践課題の実地計画作成 ユニットリーダーの役割(ユニットリーダーの役割、リーダーシップの基礎とリーダーの機能、キャリアとキャリア形成、教育、介護の研究・事例検討) | | <ul style="list-style-type: none"> チームにおけるケア理念の構築方法 ストレスマネジメントの理論と方法 ケアカンファレンスの技法と実践 チームケアを構築するリーダーの役割 |
| 高い倫理性の保持 | 全項目共有 | <ul style="list-style-type: none"> ユニットリーダーの役割(倫理的問題への対応) ユニットケアにおける個別ケアと自立支援(権利擁護)をはじめ全項目で触れられている | 全項目共有 | 全項目共有 |
| 上記、求められる介護福祉士像で定められている能力を発展させていくための科目 | 14 総合学習 ※追加科目 (研修全体のふり返りと、自職場での研修成果の活用) | <ul style="list-style-type: none"> (実務) 自施設における実践課題の実施 (実地研修) ①ケアのマネジメントとユニットのマネジメントの考え方と実践方法の理解 ②これまでのケアのマネジメント・ユニットのマネジメントの振り返りと今後の取組の方針 (プレゼン) 実践課題での取組についてプレゼンテーションを行う | <ul style="list-style-type: none"> (自己学習) 認知症の人の理解と対応の基本 (実習) 職場実習の課題設定 (実習) 職場実習 (実習) 職場実習評価(報告会) | <ul style="list-style-type: none"> (実習) 職場実習の課題設定 (実習) 職場実習 (実習) 結果報告/職場実習評価(報告会) |